



市議会議員  
上田由美子  
☎ 68-2106  
☎ 68-2146



参議院議員  
井上さとし



前衆院議員  
藤野保史

# どうする 男女共同参画社会へ(2)

## 上田由美子市議の提案

### 男性向けに家事・育児・介護等の能力向上支援

男女共同参画プラン(案)に掲げられている「重点課題(1)制度や社会慣習、しきたりの見直し、意識改革のうち、「男性にとつての男女共同参画の推進」の事業内容、男性向けの家事・育児・介護等の能力向上を目的とする講座や料理教室は有効であると思います。

### 雇用・労働条件のジェンダー平等の確保

また、アンケートの問11「女性の働き方について」で、望ましい働き方として「子どもができて、ずっと職業を続ける」という回答が56・6%になっています。

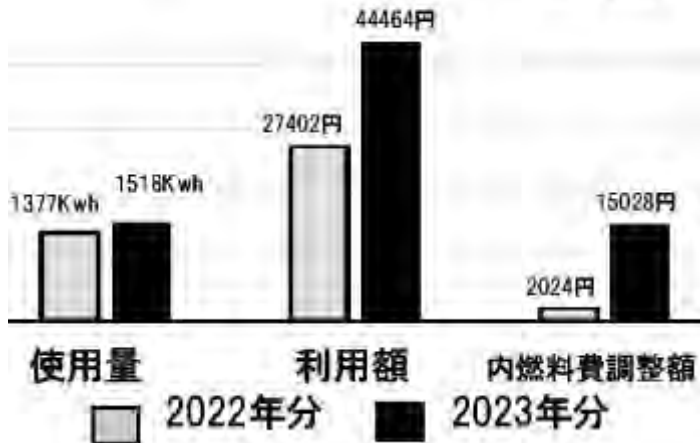
これに関連して、「重点課題(2) 職場・仕事での男女共同参画の推進」についての「施策の方向①雇用・労働条件のジェンダー平等の確保」は極めて大切だと思います。とくにその事業内容としてあげられている労働基準法・男女雇用機会均等法・パートタイム労働法の周知及び適正な運用の普及啓発は、女性が意欲をもって働き続けるために必要だと思えます。

男女とも残業をなくし、有給休暇を取得しやすくすることが、家庭と仕事の両立にとって不可欠です。そして正社員とパート労働者・有期雇用労働者との均等待遇が法律で定められており、その実現が課題です。

## 1月分の電気料金にびっくり

1月の電気料金をみて驚いた方も多いのではないのでしょうか。ある家庭では昨年の2万7千円余に比べ4万4千円余で1・6倍に増えていました。4月から値上げと報道されていたのでびっくりです。電力使用量は1・1倍しか増えていないのです。調べ

1月分の電気使用量、利用額の比較  
対前年比



てみたら、燃料費調整額が1万5千円、前年比7・4倍になっていました(グラフ参照)。

### 燃料費調整制度とは

燃料費調整制度について、北陸電力のHPによると、火力発電に用いる燃料価格の変動を電気料金に反映させるものだそうです。1月の燃料調整額は8月から10月の3カ月の平均燃料価格を元に算出するそうです。この

### 総務産業建設常任委員会

#### 上田市議の質疑

2月2日の総務産業建設常任委員会、小矢部市男女共同参画プラン(第3次)(案)が審議されました。この計画は2023年度から2032年度までの10年を計画期間とし、実施計画は2027年度までの前期の成果目標を示しています。上田由美子市議の質疑を紹介します。

### 目標が低すぎないか 「平等」と感じる人の割合

【上田市議】基本目標1の重点課題(1)で、社会通念・慣習の具体的内容はどのようなことか。

また、平等と感じる人の割合が現状13・2%に対し、目標の20%は低いのではないかと。理想が100%であることを考えると30%でもよいのでは。

【定住支援課長】社会通念・慣習とは、「夫は仕事、妻は家庭」などを指す。前期5年間のものなので、着実な目標を立てて進めていきたい。

【上田市議】家庭や地域の行事での慣習も含まれるのではと考える。

目標を達成するためには、多くの市民にプランを知ってもらう必要がある。市がパブリックコメントを募集していることを知らせる方法は何か。マスコミの方にお願いしてあげようか。

【定住支援課長】市報2月号や市のホームページでお知らせする。マスコミ関係者にも働きかけたい。

### 訂正

先週号で紹介した「男女共同参画に関するアンケート」の回答者は295人(回答率36・9%)に訂正します。

燃料費は10月の貿易統計値を元に計算します。

日本はエネルギー資源のほとんどを輸入でまかっているため、世界の経済状況や政局の変化、為替レートなどが燃料価格に大きく影響します。そのため、電気料金を固定していると、燃料価格が高騰したときに電力会社が大きな損失を被る可能性があります。そういった事態から電力会社を守るため、燃料費調整制度が設けられました。

### 地球温暖化対策こそ急がれる

アベノミクスによる異次元の金融緩和、それによる円安誘導が輸入燃料価格高騰に反映したものと云えます。日本共産党は物価高騰から暮らしと経済を建て直す緊急提案を発表しました。賃上げを軸に内需を活発に实体经济を建て直すことを提案しています。

国内で確保できる自然エネルギー(小水力、風力、太陽光発電や太陽熱)の活用を増やしたり、省エネ対策を進め、地球温暖化対策も急がれます。